

タイトル	情報学専攻の大学院生による授業の「ひと工夫」		
発表者	(静岡) 浜松市立高等学校 矢頭 勇 (やとう いさむ)		
<p>【主な発表内容】 参加者 約 14 名</p> <p>他の教科の先生が多い, 免許講習で「コンピュータを教えるのではない」と言われ困っている。静岡大学(情報学部)の大学院の学生の授業がとても良かったので, 紹介したい。(高大連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学が社会人に門戸を開いている。 ・ 情報が専門ではない先生が情報の授業にグッと近づくようにしたい。 ・ 会場では, 情報, 数学, 理科, 農業・工業 各 3 名程度 <p>1 受け取り手を考慮した情報の再構築</p> <p>(1) 生徒傾向: ボトムアップ的な作品制作 技術に偏る, 何を伝えたいかがわからない</p> <p>(2) 改善目標: トップダウン的な作品制作 最初は何も考えずに作らせ, その後, 対象者(情報の受け手)を変える。</p> <p>2 携帯電話の電話帳機能でデータベース学習 教科書の例題は非現実的でわかりにくい → 生活に密着した事例(便利さを実感できる例題) 記述例: データ項目, データの型, 例, 検索(キー)</p> <p>3 グループ活動における意思決定と組織づくり KJ法, 情報システム設計(プロジェクトマネジメント) チームの構成: プロジェクトリーダー(プロジェクトマネージャー)をつくる。</p> <p>情報学専攻の大学院生の特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活に密着した実例 ・ コミュニケーション能力 ・ 情報学の発想で授業を設計できる 			
WEB への資料公開許諾	<input checked="" type="radio"/> 許可 <input type="radio"/> 不許可	記録者氏名	千葉県 川名 康央